



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育
<ul style="list-style-type: none"> 豊溪小独自の算数テスト(算数チャンピオン)を基にした学力の実態把握 言語活動の充実 繰り返しドリル型の学習の充実 個に応じた指導(特別支援教育を含む) 習熟度別指導の充実 長期休業中や放課後の補充教室 ICT機器の活用(校内研究との関連) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業時数の確保(標準授業時数プラス30時間前後) 朝学習の充実(算数基礎学習、読書、読み聞かせ、漢字を実施) 読書旬間(年2回) 体力増強月間の設定(なわとび・マラソン) 図書館管理員の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究「論理的な思考力の育成～プログラミング教育」 各学年1回の研究授業と協議会の実施 プログラミング教育についての講演会 授業公開の実施 計画的なOJTの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の過程で個に応じた形成性評価を行い、基礎・基本の確実な定着を目指し、指導の改善を行う。 肯定的な評価や言葉掛けを行い、子供のよさを認め、自信をもたせ学習意欲を高める。 教師による評価だけでなく、自己評価、相互評価を取り入れる。(授業終末での振り返り等) 全学年・全教科の評価規準の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートの実施(年2回) 学校公開の実施 教育ボランティア(読み聞かせ・農園活動・学習等)の活用 学校評議員会の活用 豊溪通信やホームページによる情報の発信・提供 幼稚園、保育園との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回校区別協議会を開き、課題改善カリキュラムを活用して中学校との共通認識を図る。 小中一貫教育実践事例集の活用(主にキャリア教育の視点から)
授業改善策の検証	「全国学力・学習状況調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」「年度末反省(教員)」「保護者アンケート」「学校評議員会」				